

訪問介護実習

総合学習目標

患者の背景を知ることの重要性を認識し、ケアに生かすことができる。

住民の健康的な生活を支える他職種の仕事の現場を知り、協力して働くことができる。

住民の健康的な生活を支えるためのサービスをしり、包括的なケアを提供することができる。

個別学習目標

● 知識

どの程度の ADL の患者が、どのような制度を用いて、どのようなサービスを受けているのかをのべることができる。

診療所を受診する患者が自宅ではどのような生活を送っているのかを述べることができる。

介護保険により提供することのできる在宅ケアのサービスを列挙することができる。

● 技能

明るく元気のよい挨拶と自己紹介をすることができる。

利用者・ヘルパーと良好なコミュニケーションをとることができる。

● 態度

患者の地域における生活者としての背景を理解することの重要性を認識する。

住民の健康的な生活を支えるための多様なサービスをしりケアに生かすことの重要性を認識する。

時間

研修期間の早期、指導医に指定された日時に実施する。

場所

生活支援ハウスまたは老人保健福祉センター、利用者宅

服装

私服（動きやすい服装が好ましい）

方法

- ・ 指定された日時に生活支援ハウスまたは老人保健福祉センター（どちらなのかは指導医に確認）に向かう。
- ・ 簡単にオリエンテーションを受けた後に、担当のヘルパーさんとともに利用者宅へ向かう。
- ・ ヘルパーさんのお手伝いをしながら利用者、ヘルパーさんとお話をする。
- ・ 実習終了後、次ページのレポートを記載し、提出する。

Discussion

その日の診療終了後、医局カンファレンスにてディスカッションする。

評価

形成的評価

指導者

山田 康介 ヘルパー（介護福祉士）さん

